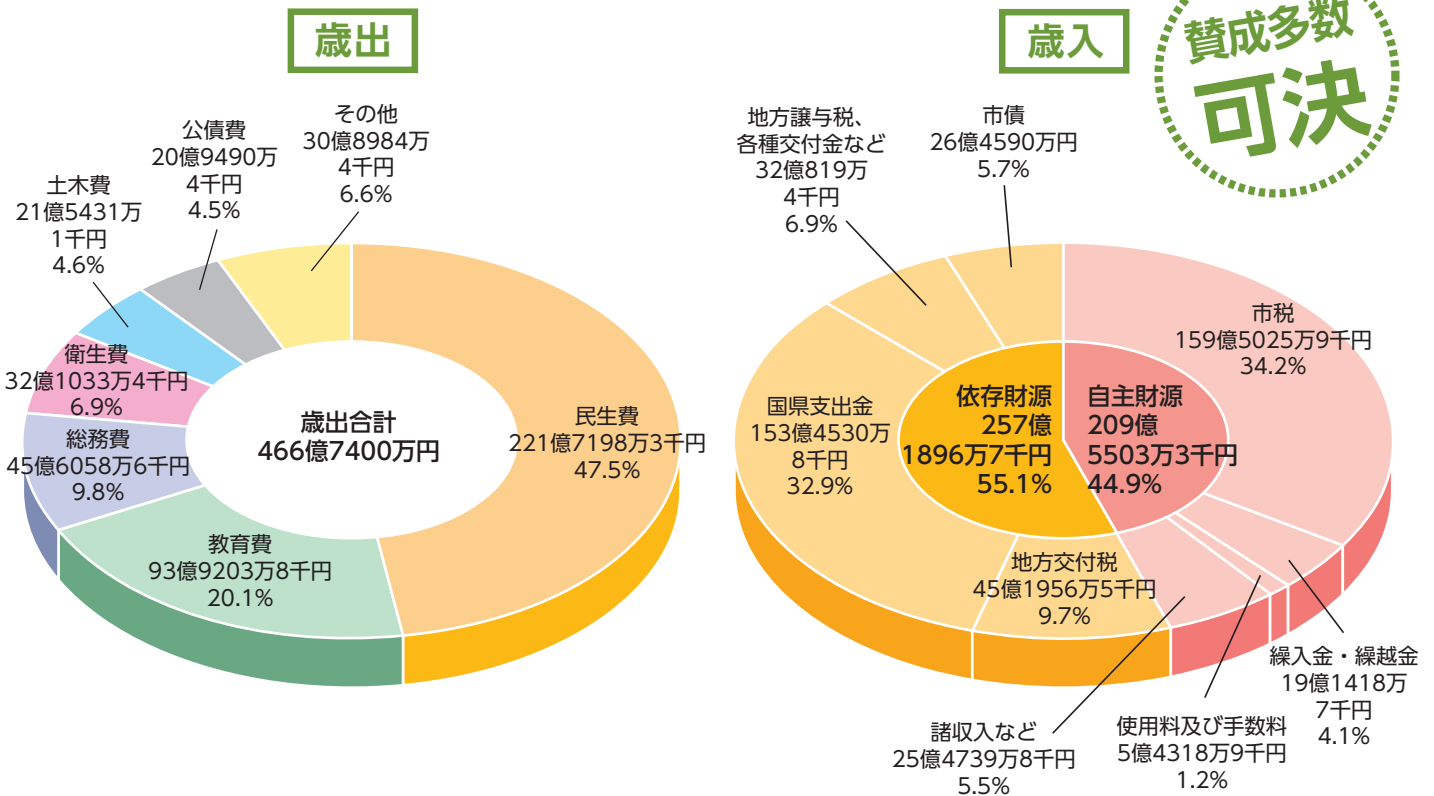


(2026年度)
令和8年度 一般会計予算

どう使うの?
466億円

令和8年度一般会計予算の総額は、対前年度比37億8800万円(8.8%)増の466億7400万円です。この予算に対し、3月12日から18日にかけて各課集中審査を行いました。8部門27課から、108項目の詳細な説明を受け、施政方針に掲げられた7つの施策分野の推進に向けた各事業の目的・必要性・内容など、多様な観点から審査を行いました。



《委員間討議》

委員間討議では、4日間の集中審査を通して感じたことなど、様々な意見が出され、活発な議論の上、以下の通り集約しました。

- 1点目は、投票環境の改善に向け、1月の市長選挙に間に合うよう期日前投票所の増設が必要であること。
- 2点目は、事業実施にあたり、国県の補助金を積極的に活用するため、更なる研究が必要であること。
- 3点目は、子どもの発達支援事業について、相談待ち時間が昨年度から引き続き課題となっているため、短縮に向けた取組に努める必要があること。
- 4点目は、健康な高齢者を増やすことにより、将来的な医療費の削減等にもつながるため、カミィリヤでの健康づくり事業や高齢者の保健事業・介護予防事業等に力を入れる必要があること。
- 5点目は、コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動については、事業内容の明確化と周知の充実を図る必要があること。また、新たに放課後子ども教室も始まるため、地域と学校の連携を注視していく必要があること。
- 6点目は、市は文化会館を改修しながら長く使用する方針であるが、市民ニーズ等を把握したうえで、今後の在り方の再検討を求める必要があること。

以上6点を重要課題として共通認識とすることを確認しました。
また、予算編成にあたっては、市民の要望や意見、議会で議論されてきた経過等を大切に、どのように市民の願いを実現していくのかという視点を持つとともに、中長期的なまちづくりを見据えながら進めていくことが重要であることを確認しました。

人が育まれ、活躍できる子育て・教育のまちづくり

子どもの発達支援事業 2085万円

事業内容

子どもの発達の遅れや特性に対する不安に対し、早期に発達相談を行うことによって、保護者の不安軽減や療育機関の紹介等、必要な支援につなぐことを目的とするものです。



委員会での質疑

問 現在の相談待ち時間は1か月から2か月とのことだが、どのように改善していくのか。

答 待ち時間を1か月前後に収めることを目標としているため、令和8年度においては相談員3名に加え、外部の臨床心理士等を招へいする体制とし、十分な効果が認められる場合には招へい回数を増やす等、改善に努めていきたい。

子育て支援拠点整備事業 152万円

事業内容

子育て支援拠点を市内2か所に整備することとし、南側の拠点としてカミーリヤ内に子育て支援拠点を新設します。令和8年度は、内部整備等の改修工事実施に伴う設計業務を委託するものです。

※北側の拠点は、新設される二日市コミュニティセンターの2階へ整備予定

問 子ども館の設置とは異なるものと捉えてよいのか。

答 今回整備する子育て支援拠点は、主に乳幼児の居場所と相談場所として位置づけているため、幅広い年齢層の子どもを対象とする子ども館とは異なるものである。



総合保健福祉センター「カミーリヤ」

水泳授業民間委託事業 6815万円

事業内容

全11小学校の水泳授業をプール施設までの移動時間や受け入れ可能児童数を踏まえ、3社の民間専門クラブに委託するものです。



委員会での質疑

問 民間委託による費用対効果についてどのように捉えているのか。

答 学校プールを維持する場合と比較し、予算が若干上回る場所であるが、これまで猛暑により授業が計画的に実施できなかったところ、委託によって必ず4回開催できること。教職員の施設管理に係る負担が軽減されることを踏まえると、効果があるものと考えている。

市民が織りなすスポーツと文化のまちづくり

部活動地域展開事業 1651万円

事業内容

「筑紫野市部活動地域移行実施方針」に基づき、休日の部活動を学校管理外の『地域クラブ活動』として位置づけ段階的に実施するものです。



委員会での質疑

問 指導者バンクに登録された方に向け、どのような研修を行うのか。

答 生徒に対する暴力等のハラスメント防止や、生徒間のいじめ等に十分気をつけてもらうことを重視し、研修を行いたいと考えている。

支えあい、暮らしに寄り添う福祉のまちづくり

重層的支援体制整備事業 1349万円

事業内容

高齢者・障がい者・子ども・生活困窮者といった分野ごとの従来の枠組みを超えて包括的に相談を受け止め、地域生活課題を抱える地域住民及びその世帯に対する支援体制等の推進のために必要な環境を一体的かつ重層的に整備するものです。

委員会での質疑

問 本事業実施におけるメリットは。

答 複雑なケースを様々な分野の機関で検討することで、職員がひとりで抱え込むことなく、より多くのアイデアで支援することができる。また、各分野が重なり合うことで、誰一人取りこぼすことがないように、多くの方を支援につなげることができることである。

巡回福祉バス運営事業 2066万円

事業内容

カミーリヤ利用者の交通手段の確保を図るため、カミーリヤ利用者及び公共施設利用者を対象に、カミーリヤ巡回福祉バスの運行及び管理を行うものです。

令和8年3月末の 運行終了コース

- ・ 山口コース
- ・ 山家コース
- ・ 筑紫コース



カミーリヤバス

委員会での質疑

問 A1 デマンドバス筑紫野ののりへの展開に伴い、巡回福祉バスの一部が運行終了となることだが、のり一においてカミーリヤで乗降する75歳以上の方及び子どもの運賃を無料とする考えはないのか。

答 地場のタクシー事業者等、他の公共交通に与える影響や、コミュニティバスの料金等を考慮する必要があるため、まずは乗車料金を半額とする方向で運輸局と協議調整を行っている。

強みをいかした多様な産業で賑わうまちづくり

森林環境譲与税活用事業 2905万円

事業内容

国から譲与される森林環境譲与税を活用し、間伐等の森林整備と、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に係る事業を行うものです。

委員会での質疑

問 森林ボランティアの参加者が増えるよう、更なる広報活動を行うべきでは。

答 近年SNSでの周知が効果を上げているため継続して行いたいと考えている。また、中学生や高校生の参加者を増やす取組として、校長会での周知や、生徒向けのポスターの作成及び学校への掲示等により、参加を促したいと考えている。

地域活性化商品券補助事業 3450万円

事業内容

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市商工会が発行する地域活性化商品券のプレミアム率20%を引き続き維持することで、地域経済の活性化や家計の負担軽減を図るものです。

委員会での質疑

問 商品券のデジタル化が進む中、デジタル機器の利用に不慣れな方への配慮はどのように考えているのか。

答 市役所に相談があった際には操作方法等について丁寧な説明に努めていく。また、紙の商品券が、希望する方に行き渡るよう、今回はデジタル商品券との重複申込みを不可としている。

販売額 3億円

- 地域活性化商品券（紙）：5千万円
- デジタル商品券：2億5千万円
（アプリ（つくしちゃんペイ））



自然をまもり未来を育むまちづくり

公共施設照明LED化事業 2639万円

事業内容

蛍光灯生産終了への対応や、脱炭素化の促進、電気料金の縮減、維持管理業務の省力化等を図るため、生涯学習センターや市民図書館等の照明器具をリース方式によりLED照明器具に更新しており、リース期間を令和6年度から令和16年度とするものです。

委員会での質疑

問 LED化するメリットをどのように捉えているのか。

答 電気使用量の6割から7割程度の縮減が見込まれること、また、現在の電気料金や照明器具の修繕費用等の範囲内で、リース料金を負担でき、機器を更新できる点がメリットだと考えている。



安全安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

天拝公園改修事業 9841万円

事業内容

天拝公園の利便性及び魅力向上、おもてなしの質を高めるために、トイレの再整備及びあじさい園の舗装を行うものです。

委員会での質疑

問 トイレの再整備の内容は。

答 女性トイレの不足等を危惧する意見をいただいたため、ブース数の増加等は設計の中で十分配慮して検討を行っていく。また、登山客が増えているため、登山口側のトイレには道具を洗える水洗ブースを設ける等、使用者の利便性が上がるよう検討することとしている。



天拝山歴史自然公園

政策実現のための市民目線の行財政運営

区長に関する事務事業 3849万円

事業内容

広報紙などの配布やコミュニティ運営協議会への参画等の業務を行う区長に対し、報酬を支払うものです。

委員会での質疑

問 議会から区長報酬について問題提起をしてきたが、増額に向けた検討はいつ行うのか。

答 報酬の妥当性について、新たな協定期間が開始となる令和9年度に向け、令和8年度中に区長から意見を聴取し、検討を行いたいと考えている。

筑紫野市長選挙執行事業 2901万円

事業内容

令和9年1月執行予定の筑紫野市長選挙の管理執行に係るものです。



委員会での質疑

問 これまで期日前投票所の増設について議論を重ねてきたが、増設に係る予算は計上されていない。先の衆議院議員選挙の混雑状況を鑑みても、増設は必要だと考えるが、見直しは行わないのか。

答 選挙管理委員会では移動支援を実施することを決定したが、混雑が発生した事実を受け止め、今後は、増設する場所の選定や、実施体制の整備が市長選挙に間に合うかも含め、補正予算も視野に検討していきたい。